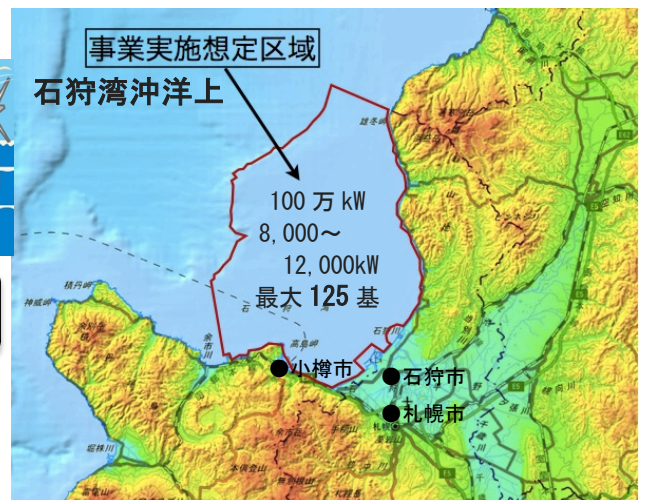
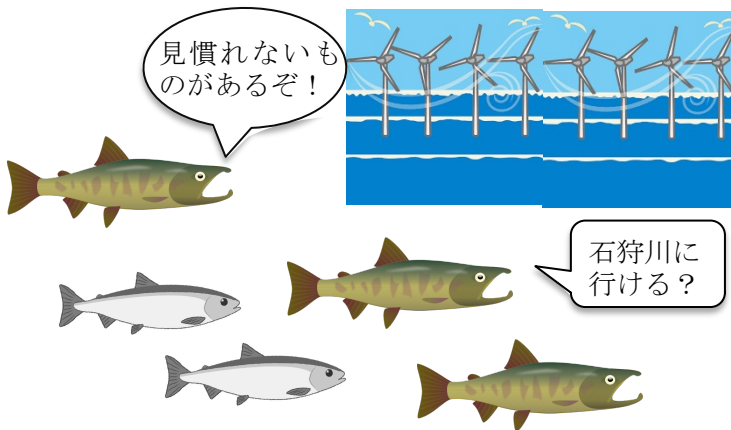


石狩川のサケに学ぶ： 負けるが勝ちの生き残り戦略

2020年着工予定の石狩湾新港洋上風力発電事業は、最近、4,000kW・26基から8,000kW・14基に計画変更になりました。また、この夏、石狩湾沖の一般海域で8,000kW～12,000kW・最大125基（総出力100万kW）の国内最大級の洋上風力発電事業計画が明らかになりました。しかし、石狩湾は生物多様性の観点から重要度の高い海域で、保全されるべき場所でもあります。私たちは海の自然について学ぶ必要があります。第2回目は北大帰山雅秀先生をお招きしサケのお話をうかがいます。

サケ（シロザケ）は、カラフトマスに次いで進化した種で、仲間との喧嘩を避けるような生き方をします。産卵床から出てきた稚魚は、ボス的なガキ大将との喧嘩を避け、サッサと降海します。海では仲間との摂餌競争を避け、低栄養価のクラゲ類等を食べます。もともと淡水起源であったサケ類*は、サケのように早い発育段階で海洋生活へ適応し、産卵のために母川へ回帰するように進化してきました。すなわち、サケは仲間との喧嘩を避け、パイオニア精神で新天地を開拓してきた種とみなすこともできるのです。サケの生活史について紹介します。 *サケ類：シロザケ、ベニザケ、カラフトマス、サクラマス、ギンザケ等



- ◆日時：2020年1月25日（土） 13:30～15:30
 - ◆場所：石狩市花川北コミュニティセンター 2階会議室B・C
（花川北3-2 ☎0133-74-6525）
 - ◆講師：帰山雅秀氏（北海道大学名誉教授・北極域研究センター研究員）
 - ◆費用：300円（資料代他）
- 主催・問合せ 石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会
安田（☎090-6211-1602）

<http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>